

京都大学 高等教育研究開発推進センター

## 第 75 回 公開研究会

# イギリスのFD事情

—日本での「FDの義務化」をめぐって—

●報告

加藤 かおり (新潟大学大学教育開発研究センター・准教授)

●コメンテーター

山内 乾史 (神戸大学大学教育推進機構・准教授)

【日時】: 2007年4月21日(土) 午後2時~5時

【場所】: 京都大学吉田キャンパス(吉田南構内) 吉田南1号館1階会議室

**参加費無料** (事前申し込みは不要です。どなたでも当日参加できます)

2007年度より、大学院設置基準には「授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」という文言が加わり、いわゆる「FDの義務化」が始まりました。学士課程教育においても、同様の方向に進みつつあります。このような「義務化」の一方で、広い意味での教育改善の営みは、その担い手がことさらにFDだと意識していなくとも、日常的に行われているという事実もあります。義務化という大きな流れと日常的な改善の営みとは、今後どのような葛藤が予想され、またどのような統合がありうるのでしょうか。

今回の公開研究会では、イギリスの大学教員研修制度に詳しい、新潟大学大学教育開発研究センターの加藤かおり氏に、まず、イギリスのFDの現状についてお話いただきます。イギリスでは、大学教員の継続的研修が義務とされ、Higher Education Academyの示す指針のもと各大学が研修プログラムを個別に提供し、受講者に認定が与えられる制度となっています。この方式は、FDのシステム化のひとつの在り方として、日本にも何らかの影響を与えるかことが、十分に予想されます。加藤氏からの報告を受け、ロンドン大学教育研究所の客員研究員のご経験のある山内乾史氏(神戸大学大学教育推進機構)には、包括的な立場からイギリスの高等教育政策等に関してコメントをいただきます。このお二人の提案をもとに、日本ではこれから高まっていくFDの受容と標準化の流れに関して、どのようなシステムを作り上げていくべきか、フロアのみなさんも含めて議論する機会としたいと思います。多数の方のご参加をお待ちしております。

主催: 京都大学高等教育研究開発推進センター

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 <http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/>

【アクセス】

JR・京都駅より: 市バス206系統「東山通 北大路バスターミナル」行「京大正門前」下車

阪急・河原町駅、京阪・四条駅より: 市バス201系統「祇園・百万遍」行、もしくは31系統「熊野・岩倉」行、「京大正門前」下車

京阪・出町柳駅より: 市バス201系統「祇園・みぶ」行「京大正門前」下車又は、徒歩約20分

【問い合わせ先】

センター事務・藤田 (yfujiita@hedu.mbox.media.kyoto-u.ac.jp) tel: 075-753-3087 fax: 075-753-3045